

2024. 6. 26.

2024 年度 児童・少年の健全育成助成（実践的研究助成）の選考を終えて

児童・少年の健全育成助成選考委員会 委員長 松見淳子

日本生命財団 創立 40 周年記念特別事業の一環として、2020 年度よりスタートいたしました児童・少年の健全育成助成（実践的研究助成）は、本年度、5 回目の選考を終えることができました。

当助成は、「子どもを巡る『真のウェルビーイング』の探求」をテーマに、研究チームは必ず現場の実践家（教育・保育、心理、医療・保健・福祉現場等の専門職、職員）を含めて構成する等を特色として、**研究成果の社会還元・社会実装を目指すもの**となっております。

募集に際しては、**2つの重点助成分野【第1分野；教育、予防的対処等を図る分野、第2分野；療育的対処等を要する分野】**を掲げ、また、多くの研究者や実践家が応募できるよう各重点助成分野に関連するキーワード・キーフレーズを明瞭に示すとともに、**2年助成と1年助成の2つのプログラム**を設定しています。

1. 応募状況

全国から2年助成59件、1年助成49件、合計108件の応募がありました。全体といたしまして、昨年度より35%多いご応募をいただきました。

	応募件数	内、第1分野	内、第2分野
2年助成	59	38	21
1年助成	49	30	19
合計	108	68	40

分野別では、教育、予防的対処等を図る第1分野が約6割、療育的対処等を要する第2分野が約4割でした。

申請者についてみると、教育、保育、医療、心理、情報の分野の研究者の他に、NPO法人の実践家など様々な分野にわたっております。

また、1年研究は大学院博士課程在籍者も助成対象としており、9名の申請がありました。

2. 選考結果

選考委員会では、個々の申請について、研究の意義、研究デザインの妥当性、社会への貢献等から選考を行い、2年助成が4件、1年助成が6件、合計10件が新たに選出されました。分野別では、第1分野、第2分野ともに5件となっております。

	採択件数	内、第1分野	内、第2分野
2年助成	4	2	2
1年助成	6	3	3
合計	10	5	5

採択となった研究は、第1分野では、へき地の複式学級の児童が英語を楽しく学べる教育教材、教育プログラムの完成を目指すものや、第2分野では、メタバース等のデジタル技術を活用して、児童・AYA世代がん患者への教育・メンタルケアの統合的なサポートシステムの開発を行うもの等、どれも課題性の高いテーマとなっております。

1年助成については、1名の大学院博士課程在籍者が採択され、今後の活躍が期待されるところです。

これからも引き続き、当助成のテーマ「子どもを巡る『真のウェルビーイング』の探求」のもと、研究成果の社会還元さらには社会実装に向け、皆さまとともに歩みを進めて参りたいと存じます。

以上